


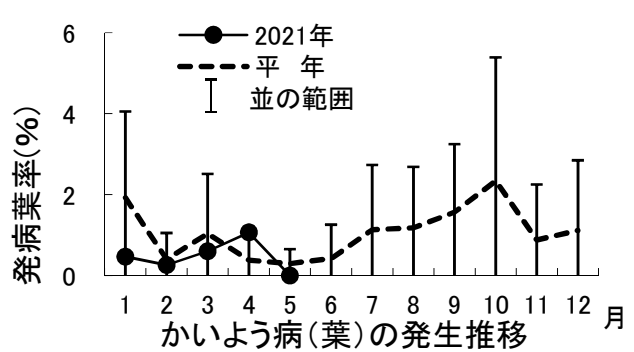
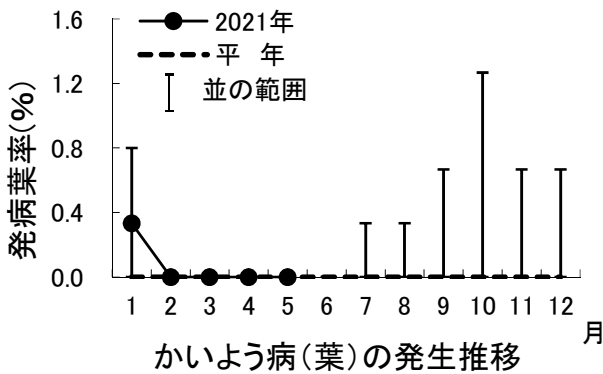
作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
調査結果	5 月の発生量（平年比）	並	
予報	5 月からの増減傾向	→	
	6 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（→）	

調査結果

（発病葉率）

〈中央値〉

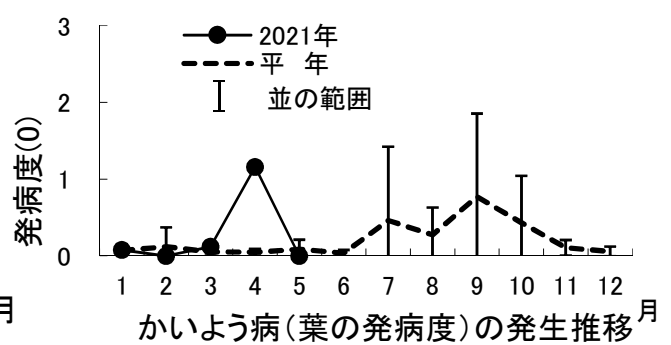
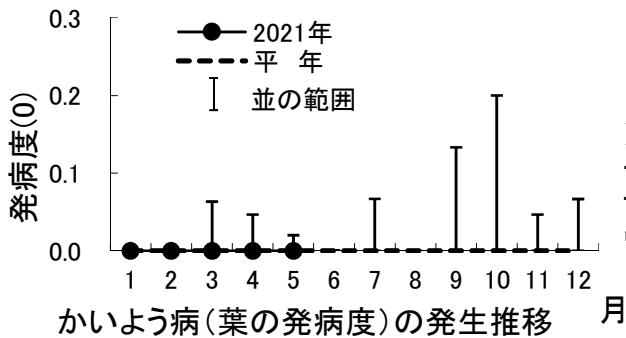
〈平均値〉



（葉の発病度）

〈中央値〉


〈平均値〉



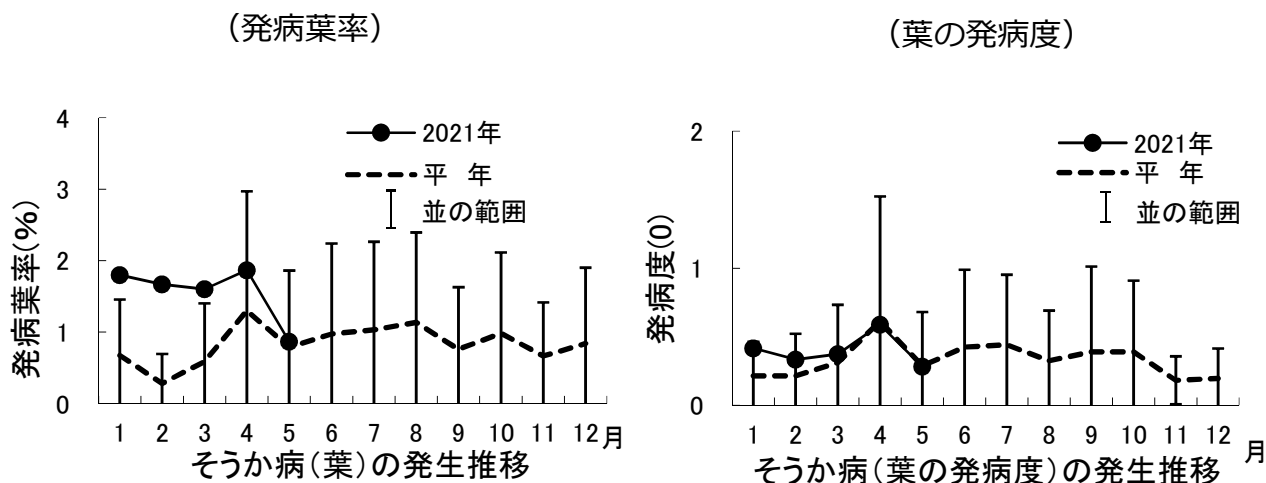
・ 発生ほ場率：20%（平年値：20%）

防除のポイント

- ・ 本病はミカンハモグリガによる食害痕から侵入しやすい。
- ・ 罹病枝、罹病葉を除去し、伝染源を極力少なくする。

作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	② そうか病		
調査結果	5 月の発生量（平年比）	並	
予報	5 月からの増減傾向	→	
	6 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（→）	

調査結果




- ・ 発生ほ場率：100%（平年値：30%）

防除のポイント

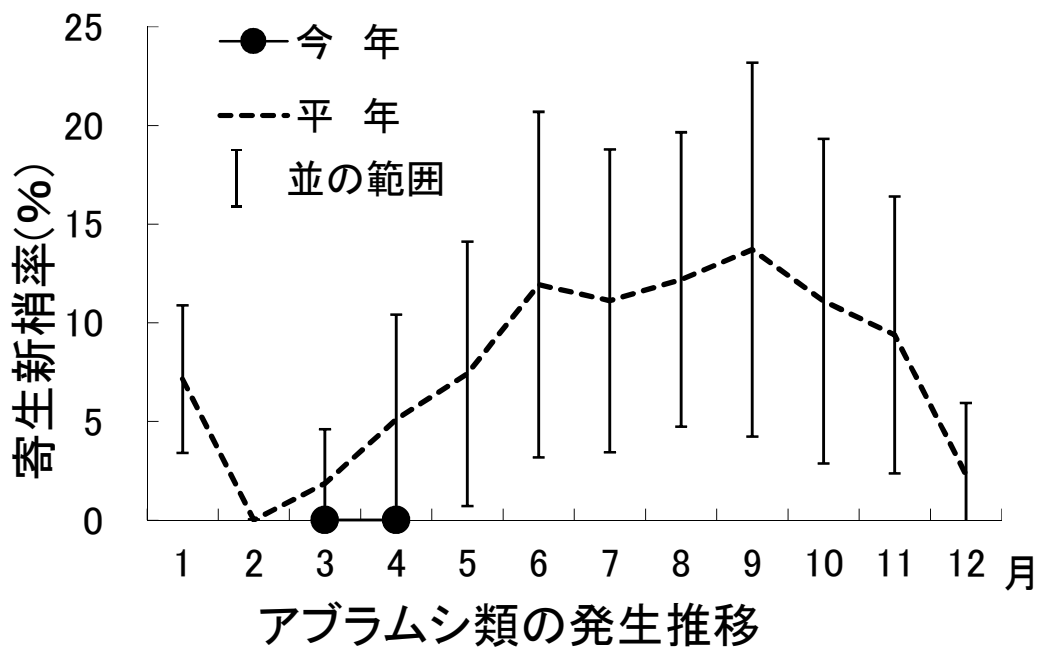
- ・ 罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

被害果→



作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	アブラムシ類		
調査結果	5 月の発生量（平年比）	—	
予報	5 月からの増減傾向	↗	
	6 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗） 新梢の発生量が増加するため	

調査結果



- ・ 発生ほ場率：0%（平年値：40%）
- ・ 新梢発生なし

防除のポイント

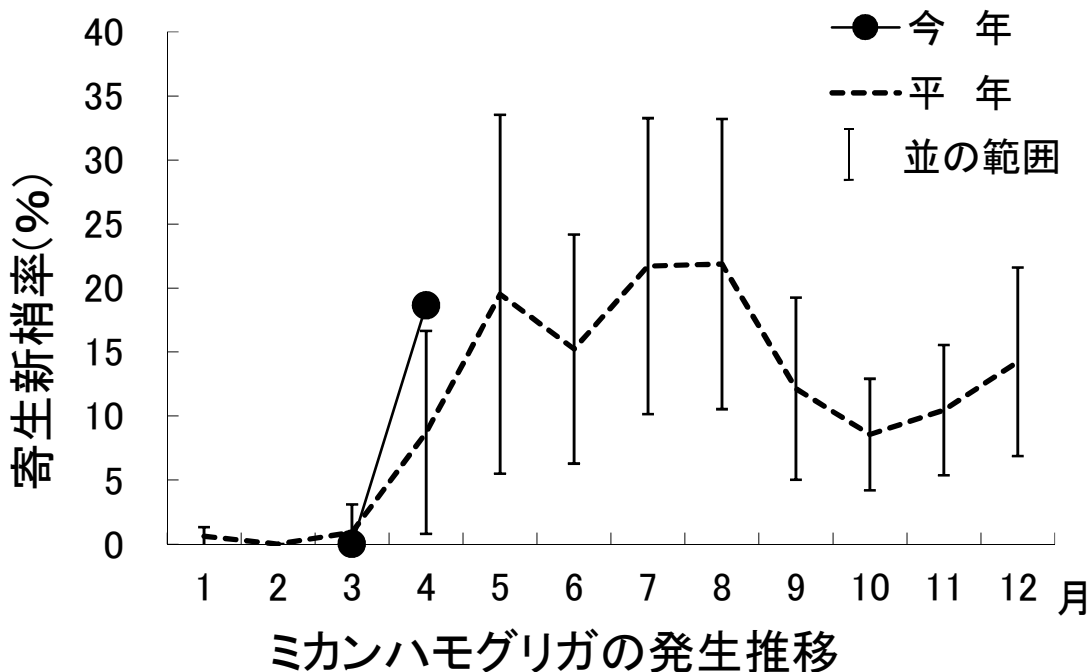
- ・ テントウムシなどの天敵によって本種の増殖は抑えられるが、密度が高い場合には天敵に影響の少ない薬剤による防除を行う。
- ・ 新梢や新葉に寄生する。アリを探すことで、アブラムシの発見が容易になる。



作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	ミカンハモグリガ		
調査結果	5 月の発生量（平年比）	—	
予報	5 月からの増減傾向	↘	
	6 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↘） 新梢の発生量が増加するため	




調査結果



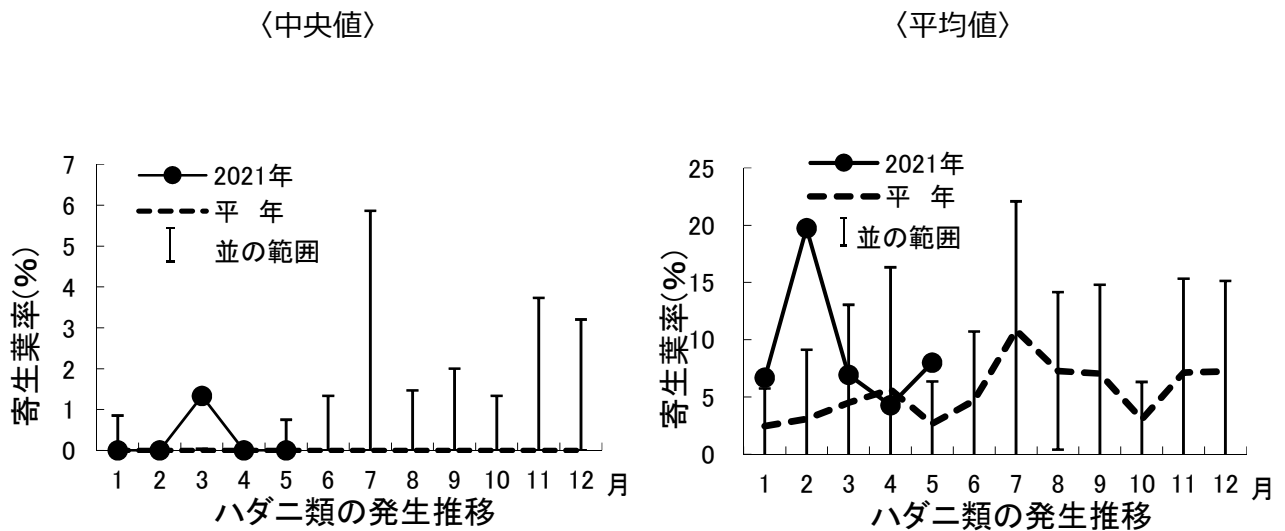
- ・ 発生ほ場率：0%（平年値：70%）
- ・ 新梢発生なし

防除のポイント

- ・ 被害葉にかいよう病が発生しやすいため、除去に努める。

作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	③ ハダニ類		
調査結果	5 月の発生量（平年比）	並	
予報	5 月からの増減傾向	↗	
	6 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	

調査結果



- ・ 発生ほ場率：40%（平年値：26%）

防除のポイント

- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状